

平成22年度 南房総市行政改革推進委員会 第2回会議録

- ・開催日時 平成22年10月18日(月) 午後14時10分～16時12分
- ・開催場所 南房総市役所別館 1階大会議室
- ・出席委員 穂積徹雄委員 岩撫善隆委員 小芝京子委員 大和田慎一委員 鈴木利恵委員
鈴木健史委員 春原健二委員 羽山光枝委員 吉田弥一委員 栗原保博委員
飯田彰一委員 鈴木直一委員 庄司芳夫委員 伊藤綾子委員
- ・欠席委員 青木正孝委員
- ・市側出席者 市長 副市長 企画部長 総務部長 保健福祉部長 生活環境部長 農林水産部長
商工観光部長 建設部長 水道部長 会計管理者 教育次長 議会事務局長
富山支所長 三芳支所長 白浜支所長 千倉支所長 丸山支所長 和田支所長
企画政策課長 総務課長 財政課長
行政改革推進室長 同係長 同副主査 同主任主事
- ・次 第
 1. 開 会
 2. 委嘱状交付
 3. 本部長あいさつ
 4. 委員紹介
 5. 会長・副会長選出
 6. 議 事
 - (1) 行政改革推進委員会に関する要綱等について
 - (2) 行政改革推進体制について
 - (3) 市財政の状況について
 - (4) 第2期行政改革推進計画及び定員適正化計画について
 - (5) 公共施設再編及び組織再編について
 - (6) その他
 7. そ の 他
 8. 閉 会
- ・公開又は、非公開の別 公開
- ・傍聴者 なし

●要 旨

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 本部長あいさつ
4. 委員紹介
5. 会長・副会長選出

委員の互選により、会長は栗原保博委員、副会長は大和田愼一委員に決定した。

6. 議 事

- (1) 行政改革推進委員会に関する要綱等について説明。

【主な意見】

特になし

- (2) 行政改革推進体制について説明。

【主な意見】

特になし

- (3) 市財政の状況について説明。

【主な意見】

特になし

- (4) 第2期行政改革推進計画及び定員適正化計画について説明。

【主な意見】

委 員 定員適正化計画にある平成21年4月1日現在の年齢階層別職員数は、30歳未満が55人、30歳以上40歳未満が207人、40歳以上50歳未満が162人、50歳以上が217人となっており、年齢構成のゆがみが生じているとわかる。

定員適正化計画による平成26年度まで原則として定年退職者の概ね10分の3を新規採用の基準としているようであるが、このようなゆがみの是正を考慮してのものか。

総務部長 新規採用について、基本的に10分の3補充を基準とし、年齢構成のゆがみについては長期的な視点のなかで、財政状況など全体を加味して調整を図っていくことになる。

委員 60歳で退職する職員の給与に対して、新規採用者の給与は2分の1以下なのであるから、10分の3補充よりも前倒しして採用し、年齢階層別職員数の是正を図る必要がある。

総務部長 財政状況や早期退職希望者などの状況を見極めながら調整を行う。年齢階層別職員数には十分に留意する。

(5) 公共施設再編及び組織再編について説明。

【主な意見】

委員 現在分庁舎方式を採用しているが、今後財政状況が悪化していくなかで、合併による優遇措置のあるうちに本庁舎を建て替えるという考えはあるか。

総務部長 新庁舎の建設については、議会に対して、非常に大きな予算が伴うため本市の財政状況を考慮すると、大変困難であると説明をしている。また、現在の経済状況を考慮すると、新庁舎建設について、市民の理解を得ることは難しいと考えている。

委員 公共施設の再編について、施設の老朽化や職員配置などにより縮小の方針を打ち出していくことは理解できるが、特に公民館は、地域住民の文化的な拠点として整備をしてきた経緯があり、これを縮小して支所などと一緒にする場合は、代替措置が必要ではないかと感じる。

総務部長 縮小というよりは、機能を集約するという考え方で公共施設の再編を進めている。これは例えば、保健センターに集約をする場合、その施設のホールや会議室をこれまでどおり保健センター機能として利用することもできるし、公民館機能として利用することもできるという考え方である。公共施設の再編に際しては、集約するそれぞれの施設を利用している市民団体に十分説明をする必要があると認識している。

(6) その他

7. その他

8. 閉会